

銀沙灘

漢字表記で「銀色の砂の海」を意味する銀沙灘は、現在も、それが作られた 1600 年代初期の当時と近いかたちで残っています。日本の伝統的な砂や砂利をならす技法が用いられ、波を模した模様（砂紋）が描かれています。白砂は光源としても機能し、月光や日光を本堂の部屋に反射します。銀沙灘は 4~6 週間に 1 度、手直しされます。